

5.その上にハイブリッドレジン被膜を同様に丁寧に塗って、丹念に仕上げる

その間、約3時間から5時間。お車を1日お預かりして施工する。施工してからは5年間、「犠牲被膜」としての「レジン」を入れ替える「メンテナンス」を繰り返す。一般的にボディガラスコーティングは「水シミ」が固着して苦労するが、ダイヤモンドキーパーは「レジン」の性質でその苦労から開放される。

episode 9 1年耐久のクリスタルキーパーの登場

ダイヤモンドキーパーを世に出してから約1年後、1年耐久、ノーメンテナンスのクリスタルキーパーが誕生した(特許申請中)。

水を使った塗布方法でガラス被膜を強制的に素早く硬化させて、ダイヤモンドキーパーの被膜より密度の低い被膜を作ってしまう、密度が少し低いレジン被膜をかぶせてハイブリッド構造にするのだ。

作業時間は、これによってうんと短縮され、1時間30分から2時間程度となる。こうするとダイヤモンドキーパーよりは耐久力が落ちるが、ガラス特有の「透明感のあるツヤ」はしっかりと確保され、ももとの低分子の構造によるアンカー効果で密着度も確保される。紫外線などに対する耐久力もポリマーコーティングよりはるかに高い。

紫外線に対する耐久力は公的機関による試験で3年弱と測定された。これだけの耐久力があれば「1年耐久」を世の中に謳っても大丈夫だと判断した。



1年に1回繰り返すボディガラスコーティング「クリスタルキーパー」

このクリスタルキーパーは、今現在、急激に施工台数が伸び、多くのお客さまに施工していただいている。1万円台でガラスコーティングできることもあるが、人気の秘密は他にある。

1.塗装だけよりももっとキレイになって、目立ってトクをする
ツヤと輝きを増してコーティングをしていない車よりもきれいになって目立つ。

2.コーティング期間中、洗車だけでいいので楽になる
5年耐久コーティングならば、約1年間隔でメンテナンスをすることになるが、1年耐久コーティングならば文字通りノーワックス、ノーメンテナンス。

3.水をはじき、汚れにくくなって洗車の回数が減る
数ヶ月~1年程度の耐久性の範囲の中ならば、十分に水をはじかせることはできる。十分な撥水の状態は、雨が降っている時の走行でも汚れが着きにくくなって、洗車回数が減る。

4.洗車がしやすくなって楽になる

コーティング表面を滑らかに保ち水弾きがいいので汚れが着いてもさっと洗えば取れるので、洗車の手間がうんと減る。

5.車が古くなってもキレイで査定価格が上がってトクをする

コーティングが身代わりとなって塗装を守り続けるので、下取り、車買取りでの査定価格が上がって、トクをする。

「マニアックな人」から「もっと多くの普通の人」へ。コーティングの方向性をより確かなものにしたキーパーコーティングは、これからもっともっと多くのお客様に愛されるよう、日々進化を遂げることだろう。



1年耐久、ノーメンテナンスの「クリスタルキーパー」はおトクがキーワード

アイ・タックINFORMATION

ケミカルのラベルデザインを順次変更しています。現デザインの在庫終了後、順次新デザインとなります。



デザインの変更に伴い、容量、成分の変更はございません。デザインは開発中のものも含まれ、変更される可能性があります。